



*Action Card*

**緊急被ばく医療  
院内活動アクション・カード**

財団法人 原子力安全研究協会

本アクション・カードは、平成 20 年度文部科学省委託事業の一環として設置された「緊急被ばく医療業務支援検討委員会」（委員長 嶋津 岳士・近畿大学〔現・大阪大学〕）において検討した内容に基づき、「緊急被ばく医療専門講座Ⅱ（医療関係者コース）」附属資料として作成したものです。

# 管理部門全体

## 目 標

適切な被ばく医療が行える環境を院内に確保する

## 責 任(責任者)

- ①治療・看護とその支援組織(院内対策本部)の立ち上げ(病院長、副院長、看護部長、事務部長)
- ②治療・看護とその支援業務に関する職員配置、役職任命などの調整と統制(副院長、看護部長、事務部長)
- ③情報収集、分析、方針の決定(病院長、副院長、看護部長、事務部長)
- ④外部支援機関との連携(副院長、事務部長)
- ⑤院内の汚染・被ばく情報の広報－放射線障害についての正確で不安を招かない適切な情報を院内外に提供し、風評の発生を抑える－(病院長、事務部長)
- ⑥治療関係者の保護－二次被ばく防止とメンタルヘルスケア－(副院長、看護部長、事務部長)

# 病院統括者（病院長）

総括責任者および医療全般の責任者

## 責 任

- ①緊急被ばく医療業務全体の統括
- ②適宜かつ適切な被ばく医療実施状況についての広報内容の決定
- ③マスコミ記者会見場への出席者の決定と説明
- ④院内の安全確認の決定根拠の確認と宣言発表の決定

## 優先事項

- ①緊急被ばく医療業務の統制
- ②職員の二次被ばく防止
- ③患者、患者家族、職員等のメンタルヘルスケア
- ④マスコミへの統制と対応

# 病院統括補佐-1(全般)

院長補佐(全般)

## 責 任

- ① 医師、診療放射線技師、臨床検査技師等の診療支援体制の立ち上げ
- ② 医師、診療放射線技師、臨床検査技師等の業務調整と統制
- ③ 治療情報収集、分析、方針の検討と決定
- ④ 外部の病院、保健所等との連携
- ⑤ 直読式個人線量計による医師、診療放射線技師の被ばく状態の評価
- ⑥ 医師、診療放射線技師、臨床検査技師に対するメンタルヘルス評価の実施と要注意者に対する対応指示
- ⑦ 上記①～⑥の病院統括者への報告

## 優先事項

- ① 診療業務の人的・物的な環境確保
- ② 患者が迅速で適切な治療が受けられるための連携の確保
- ③ 医師、診療放射線技師の二次被ばくの防止
- ④ 医師と診療放射線技師、臨床検査技師等の診療支援職員のメンタルヘルスケア

# 病院統括補佐-2(看護部門)

看護部門担当／院長補佐

## 責 任

- ①看護の支援体制の立ち上げ
- ②看護業務調整と統制
- ③看護情報収集、分析、方針の検討と決定
- ④直読式個人線量計による看護師の被ばく状態の把握
- ⑤メンタルヘルス評価の実施と要注意者に対する対応指示
- ⑥上記①～⑤の病院統括者への報告

## 優先事項

- ①看護業務の人的・物的な環境確保
- ②看護師の二次被ばく防止
- ③患者・患者家族等のメンタルヘルスケア
- ④看護師のメンタルヘルスケア

# 事務部門責任者

事務部門担当者(事務局長)、院長補佐

## 責 任

- ①支援業務班(連絡班、養生・設営班、広報班、記録班、警備班、ロジスティック班)の立ち上げと稼働状況の確認
- ②支援業務班の業務調整と統制
- ③支援状況の情報収集、分析、方針の検討と決定
- ④行政機関、警察、消防との連携
- ⑤院内の被ばく・汚染状況の広報案の作成と広報手配
- ⑥メンタルヘルス評価の実施と要注意者に対する対応指示
- ⑦上記①～⑥の病院統括者への報告

## 優先事項

- ①支援業務の人的・物的な環境確保
- ②事務職員の二次被ばく防止
- ③行政機関との連携
- ④事務職員のメンタルヘルスケア

# チームリーダー（医師）

処置現場の統括（管理区域内での処置）

## 責 任

- ①緊急被ばく医療処置を統制する。
- ②汚染の程度や核種の情報に基づいて、医療チームの装備を指示する。
- ③傷病者が複数ある場合は、処置の順番を設定する。
- ④全身状態の評価を行い、除染と全身状態の改善の順番を決定する。
- ⑤除染後、診療放射線技師の報告を受けて除染処置の終了を決定する。
- ⑥高次施設へ搬送を行う場合は、高次施設の緊急被ばく医療チームリーダーに連絡をつける。
- ⑦処置室の汚染検査とその結果をまとめ、院内対策本部に報告する。

## 初動対応

- ①傷病者発生連絡を受け次第、救急部に直行する。
- ②病院統括者（病院長）、事務部門責任者（事務部長）等に傷病者の受け入れを報告する。
- ③疾病・傷病の内容に応じて外科・整形外科・内科等の科長に連絡をし、医療チームの医師の配属を受ける。
- ④看護部長に連絡をし、医療チームの看護師の配属を受ける。
- ⑤放射線部長に連絡をし、医療チームの診療放射線技師の配属を受ける。
- ⑥配属された医療チームメンバーにそれぞれのアクション・カードに示されている職務の内容を周知徹底させる。
- ⑦処置室に向かい、医療チームにより行われる処置を監督する。

## 優先事項

- ①診療行為の中で、除染の開始の判断・除染終了の判断を行う。
- ②医療チームに傷病者の治療について指導助言をする。
- ③除染作業終了後に記録係看護師から記録用紙の提出を受け、内容を確認して院内対策本部に提出する。



# 医師（処置）

管理区域内

## 責 任

- ①汚染を伴う傷病者の外来治療
- ②医療チームリーダーによって指示される除染、処置

## 初動対応

- ①医療チームに配属され次第、指示された処置室に直行する。
- ②疾病・傷病の内容に応じて、準備された資機材の点検を行う。
- ③医療チームリーダーの指示に従い、防護衣等の必要な装備を行う。
- ④医療チームリーダーと相談をして決められた順番で除染、疾病・傷病処置を行う。

## 優先事項

- ①汚染を伴う傷病者の処置
- ②汚染拡大防止

# 看護師-1(補助)

管理区域内

## 責 任

- ①医療チーム医師による除染、処置の補助
- ②処置中の患者のバイタルサインの観察
- ③処置中の患者の心理状態への配慮

## 初動対応

- ①医療チームに配属され次第、指示された処置室に直行する。
- ②疾病・傷病の内容に応じて、資機材準備に協力する。
- ③医療チームリーダーの指示に従い、防護衣等の必要な装備を行う。
- ④医療チーム医師の行う除染、疾病・傷病処置の補助を行う。

## 優先事項

- ①バイタルサインの観察
- ②診療補助
- ③傷病者の心理状態への配慮

# 看護師-2(機材出し)

管理区域外

## 責 任

- ①汚染を伴う傷病者の外来診療に用いる資機材の準備
- ②医療チーム医師による除染、処置の補助。

## 初動対応

- ①医療チームに配属され次第、指示された処置室に直行する。
- ②疾病・傷病の内容に応じて、資機材を準備する。
- ③医療チームリーダーの指示に従い、防護衣等の必要な装備を行う。
- ④医療チームの行う除染、疾病・傷病処置の際に、必要に応じて管理区域外から必要な資機材を管理区域内に渡す。
- ⑤処置中管理区域内で人手がいる場合は、速やかに管理区域内に入って補助を行う。

## 優先事項

- ①資機材の準備、物品出し
- ②診療補助
- ③普段からの必要資機材のリストの作成と保管場所の確認

# 看護師-3(記録)

管理区域外

## 責 任

- ①汚染を伴う傷病者の除染診療におけるバイタルサインおよび医療行為の記録
- ②汚染患者の除染前後の汚染の程度の記録
- ③作業終了後の医療チームメンバーの個人線量計の数値の記録

## 初動対応

- ①医療チームに配属され次第、指示された処置室に直行する。
- ②疾病・傷病の内容に応じて、資機材準備に協力する。
- ③医療チームリーダーの指示に従い、防護衣等の必要な装備を行う。
- ④傷病者のバイタルサインを記録する。
- ⑤医療チーム医師の行う除染、疾病・傷病処置を記録する。
- ⑥診療放射線技師の測定する傷病者の身体部位ごとの汚染の程度を記録する。

## 優先事項

- ①傷病者のバイタルサイン、汚染の程度の記録
- ②診療行為の記録
- ③処置後の医療チームメンバーの個人線量計の記録
- ④処置後に記録を取りまとめ、放射線に関する記録については診療放射線技師の確認を受けた上で、医療チームリーダーに提出する。
- ⑤効率的に諸記録を残すための記録用紙の準備

# 診療放射線技師-1

管理区域内

## 責 任

- ①放射性汚染物、器具の持ち出し、拡散の防止に務める
- ②汚染管理区域の場の空間線量率を把握する
- ③汚染部位の線量率を測定評価する
- ④医療チームメンバーの二次被ばくを防止する
- ⑤むやみに汚染管理区域へ立ち入る人へ注意の喚起を行う

## 初動対応

- ①医療チームとして防護衣等の必要な装備を行う。
- ②搬入前、処置中、空間線量計で空間線量率を測定評価する。線量率が上がる場合は職員の立つ位置でも測定評価する。
- ③除染前、除染中、除染後サーベイする。全員に聞こえるように数値を読み評価する。「何ベクレル、バックグラウンドの何倍」等解りやすい値で評価する。
- ④患者の汚染物を撒き散らさないよう注意する。
- ⑤処置の状態を把握し、医療チーム医師との連携でサーベイを行う。
- ⑥合併症や生命を脅かす状態の時は、手術や高次施設へ支援を要するため、出来るだけのサーベイを行い、汚染の状況を把握する。
- ⑦より正確に計測するため、NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータ、傷モニターで測定評価する。
- ⑧汚染物、使用機器、器具を安易に管理区域外へ持ち出さないよう喚起する。
- ⑨汚染管理区域や使用した処置室の汚染状況測定と環境測定を事業所の放射線管理要員とともに行う。

## 優先事項

- ①汚染拡大の防止
- ②二次被ばくの防止
- ③被ばく線量の評価

# 診療放射線技師-2

管理区域外

## 責 任

- ①放射性汚染物、器具の持ち出し、拡散の防止に務める
- ②汚染管理区域の場の空間線量率を記録する
- ③汚染部位の線量率の測定数値を記録補助する(主記録は看護師-3)
- ④汚染部位の線量率を記録し変動を把握する
- ⑤医療チームメンバーの二次被ばくを防止する
- ⑥むやみに汚染管理区域へ立ち入らないよう注意喚起を行う
- ⑦医療チームメンバーの防護衣の汚染確認と脱衣等の補助を行う

## 初動対応

- ①受入人数、状態、放射線管理要員の同行、事業所でのサーベイ報告を確認する。
- ② $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ 線用サーベイメータの準備、個人被ばく線量測定器具の準備をする。
- ③患者用準備用品、除染用品を準備する。
- ④搬入前、処置中、空間線量計での空間線量率の測定値を記録する。
- ⑤患者の汚染物が撒き散らさないよう注意する。
- ⑥患者のサーベイ測定値を記録する。(主記録は看護師-3)
- ⑦不用意に管理区域内へ出入りしないよう注意を喚起する。
- ⑧汚染物、使用機器を安易に管理区域外へ持ち出さないよう喚起する。
- ⑨処置後、職員の全身サーベイをする。
- ⑩汚染管理区域や使用した処置室の汚染状況測定と環境測定を事業所の放射線管理要員とともに行う。

## 優先事項

- ①汚染拡大の防止
- ②二次被ばくの防止
- ③被ばく線量の評価
- ④放射線管理